

津波監視技術適用性検証のための HF レーダーの試験調整運転開始について

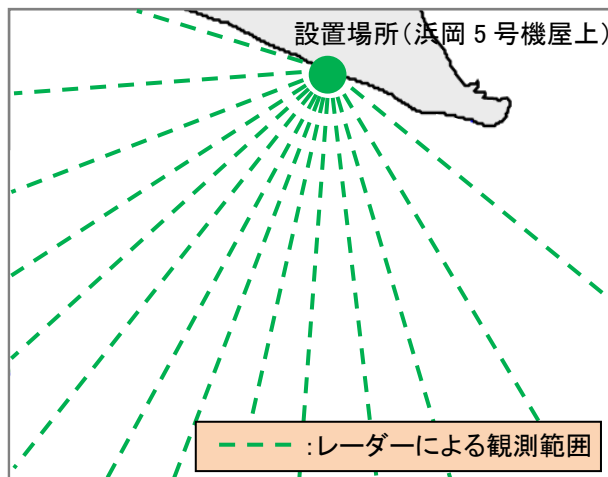
2014 年 11 月 17 日

当社は、発電所の初動体制や復旧作業に役立てるため、津波を早期に精度よく検知する津波監視技術の研究をおこなっています。この研究の一環として、レーダーによる発電所前面海域における海表面の流速観測開始に向けて取り組んでおり、VHF^{※1}帯電波を用いたレーダーによる観測をおこなうとともに、より広域の津波監視が可能と考えられるHF^{※2}帯電波を用いたレーダーによる観測の準備を進めてきました。(VHFレーダーの設置については、[2013年3月5日](#)、[2013年7月10日](#) お知らせ済み)

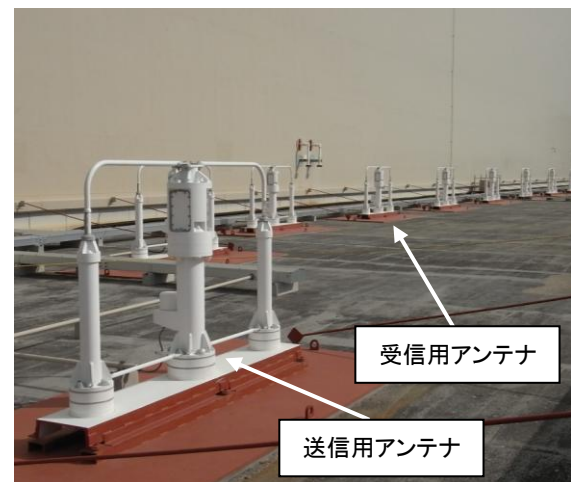
このたび、HFレーダーの使用に先立ち、総務省東海総合通信局より予備免許を受領し、HFレーダーの試験調整運転を開始することとしましたのでお知らせいたします。

今回予備免許を受領したHFレーダーは、送信用アンテナ1本と受信用アンテナ13本で構成されています。設置場所は浜岡5号機原子炉建屋屋上です。

当社は、引き続き、津波監視に関する研究を進め、発電所における初動体制や復旧体制の構築などに役立てていきます。



HFレーダーの観測範囲(イメージ)



HFレーダーの設置状況

※1 VHFとは、very high frequencyの略で、周波数が30MHz～300MHzの電波のことです。

※2 HFとは、high frequencyの略で、周波数が3MHz～30MHzの電波のことです。

以上